

拡張身体
abii



「カッコいいを日常に」

拡張身体abii(アビー)は健常者のための義足です。装着することにより能力を付与することができます。機能や見た目は自身でデザイン可能。あなたの個性が表現されます。



カッコいいを日常に

健常者が義足をファッションとしてみた時の社会の反応が「カッコいい」となると将来的な課題は解決へ向かうかもしれない。事故や病気で足を失った人の中で見た目重視で義足にする、一見すると不謹慎かもしれないがそこへの感情がカッコいいとか憧れになる社会作りが問題解決へとつながる。

課題



01

ユーモアある問題解決

当事者以外の人々の参入障壁を下げる必要があるが暗黙のルール(不謹慎は避ける)や市場が小さいことが妨げとなっている。
abiiはデザイン思考からビジョン思考へ考えを変えつつ面白い提案をしていくことを目指した。

02

高齢社会への対応

団塊の世代が高齢になるのが約10年後。しかしその際の労働人口は減っていく一方である。インフラを維持しながら介護していくのは厳しいため介護の負担を軽減するアシストデバイスの提案は急務である。

03

データセットを集めるエコシステム

現在、義足は人の手で一つひとつ作っている。しかし人数も時間も限られているのでソフトウェア的に問題を解決する必要がある。
データセットを集めつつ人々の関心を集めるエコシステムの在り方を考える。

自己表現

現在、既存のモデルを簡単にデザインしなおす方法を研究中。個の表現を可能にしオートクチュールの民主化を図る。

機能/デザイン

ESP32やArduinoを内蔵。自分の好きな機能をプログラミングによって付与できる。生活とプログラミングでデザインする次世代インタフェース。

意識改革

機能もデザインも切り離さない発想へ。ありえないことなどありえないと思わせるようなユーモアある提案をし機能性と装飾性の垣根をなくす。

